

PHOTO歳時記

十五夜

(今年は9月27日)



旧暦8月15日の夜は十五夜と呼ばれ、一年で一番美しい満月「中秋の名月」が見えるといわれている。

この日は月見をするとともに五穀豊穡を祝い、秋の収穫を

感謝する日。

稲穂に見立てたススキ15本、おみなえし、われもこうなど秋の草花を瓶にさし、とうふの他は丸い物(団子、里芋、栗、梨、柿など)を供える。供え物は近所の子ども達も自由に食べて楽しむことができた。

藤沢市に大規模な災害が発生した場合、まず市役所に「藤沢市災害対策本部(本部長は市長)」が設置され、状況を判断し、避難情報を出すと共に各地区市民センターに指示を送る。避難情報とは、①避難準備情報②避難勧告③避難指示の3段階。要注意なのは「避難命令」という言葉がないこと。命令がないからまだ大丈夫と誤解する人がいるが、最終段階は「指示」だ。

市対策本部から連絡を受けた市民センターは「地区防災拠点本部」を設置、避難所の準備をする。避難所が開設される目安は、地震の場合震度5弱。風水害は状況により判断するが、市から避難勧告が出された地域は開設する。長後地区では、長後小、富士見台小、長後中、高倉中、藤沢総合高、こぶし荘の6か所だが、水害の場合は長後中、こぶし荘を除き、長後市民センターを加えた5ヶ所となるので注意が必要だ。状況を見て安全に行ける施設に避難してもよい。

「いざ、その時に」を再確認!

地域の防災体制をご存知ですか?

9月1日は防災の日。もしも長後地区で大規模な地震や風水害土砂災害が起こった時、市民センターではどのような対応をするのか取材した。そして私達に必要な心構えは何か改めて考える。



南、NHKFMのラジオ局等に放送を依頼する。

各家庭に配布されている資料をぜひ見直して!

避難所が長期化した場合は避難施設リーダー、避難者代表、施設管理者、担当の市職員で「避難施設運営委員会」を立ち上げ、救済物資の管理や生活全般の運営をする手順をとる。

市民センターでは、この様に防災(避難)対策を進めているが、やはり一人ひとりの防災意識が重要だ。

老人会リポート

『運動の楽しさ 笑顔で』

下土棚西五月会

この会は下土棚西・諏訪棚・コーポ土棚を対象地域としている。

今年4月から下土棚西自治会にも声をかけて長後いきいきサポートセンターが行う「公園体操」を下土棚市民の家の庭で毎週月曜日9時(祝日、雨天休み)に行っている。

長後地区の人口は8月1日現在約3万3千人。6か所の避難施設に単純計算で5千人の避難者は受け入れ不可能。センターでは「先ずは自分の命は自分で守ることを最優先に、その為の準備をして欲しい」と話す。災害を想定して、家具などの転倒防止や安全な配置を考え、非常食準備(できれば7日分)、自宅の立地の把握(川や崖の側か、浸水の危

保存性がよく食べ慣れた物を少し多めに買い置き



ローリングストックで備えあれば憂いなし!

平均20〜25人の人達がラジオ体操と「きよしのズンドコ節」に合わせて身体を動かしていると自然と笑顔がこぼれる。「普段あまり体操をしていないので良かったです。近いので行きやすいです」。またこの日にサークルをしている人達も参加して、挨拶を交わし、会話が生まれている。

長谷川勝己会長はこの機会を利用して、気軽にできる奉仕活動をしたと考えている。

第38回長後地区ふるさとまつり

「つなごう手と手 つたえようふるさとの心」

10月17日(土) 正午～午後4時

10月18日(日) 午前9時30分～午後3時30分

ふるさとまつり大人ボランティア募集

日時: 17日(土) 午後・18日(日) 午前、午後の3つの時間帯のいずれか

内容: 会場・駐輪場等の整理

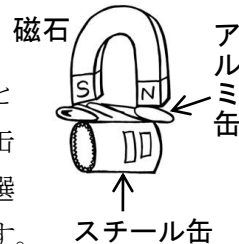
申込み: 実行委員会事務局 (46) 7373

ゴミ・資源の何故? -その2-

“缶はつぶさないで!!”



アルミ缶はつぶすと磁選機でスチール缶との間にはさまり選別の妨げになります。



険はないか)等は日頃から心がけたい基本事項だ。長後地区は多くの自治会が一時避難場所や防災倉庫の設置、自主防災訓練などを行っている。自分、家族、隣人、地域、そして長後の街。一人ひとりの防災意識は多くの命を守る出発点でもある。



加藤忠さん

東日本大震災から4年。長後在住の加藤忠さん（加藤豊店）は豊組合湘南の災害ボランティア活動で阪神淡路大震災の時に畳を届けた経験を生かし、支援活動を続けている。震災1ヶ月後に宮城県南三陸や気仙沼へ積極的に赴き、歌津地区の仮設住宅に45世帯分約149枚の畳をトラックで運び込み無料で配った。「畳職人だからこそ畳のよさが分かる。絶対、必要だと思った」。これまで届けた畳は全て新品で計300枚以

ボランティアに活かす職人魂

上。撤去になれば搬出業も行うという。また、湯たんぽを2054個配布することになった時はレディオ湘南に呼びかけてもらい、鍋やガスコンロが必要だと知るとおそば屋さんから不要の器材を譲り受け、ピカピカに磨いてから渡した。組合のボランティア活動が期限切れになった今も、宮城で知り合った人々と毎月のように連絡をとり、とりたての地産物を届け合う間柄だ。昨年からは市豊組合で福島産米の消費活動にも尽力している。

「ボランティアでいるいろんな事態が生じてても、誰かと繋がる。いつも運がいいなと思う」。行動は義気凛然だが姿勢はいつも謙虚だ。

このマップには、地域の高齢者が気軽に参加できる、ご近所や仲間同士のお茶飲み会、食事会、麻雀やカラオケの会等の集まりと活動載せていきます。今後は、皆さんにこのマップを活用してもらい、地域の方や友人との交流や趣味サークルの参加のきっかけにして頂ければと思っています。

このような活動をしているグループや地域の皆さん！是非、長後いきサポに情報をお知らせください。

こんにちは！

長後いきいきサポートセンター
（地域包括支援センター）

長後いきいきサポートセンター（略称・いきサポ）では、「長後地区の高齢者のためのいきいきマップ」作りを始めました。

シリーズ・わがまち再発見⑧

昔話にみるふるさと歴史②

◇恵母地蔵様

高倉バイパス七ツ木市民の家入り口交差点脇に建つこのお地蔵様には、約250年前の旅の母子と村人達に因む物語が伝わる。

ある朝、七ツ木村渡貫家（直正さん遠祖）の屋敷にある椎の大木の根元で赤ん坊の泣き声がした。近寄ってみると、女の赤ん坊が母親の乳房をまさぐりながら泣いていた。母親を揺り起こした

が、哀れにもすでに息絶えていた。ワラジの破れ具合からみて江戸から田舎に帰る途中と思われる。この当時、江戸は食糧難で、生まれ故郷へ逃れる者も多かったという。母親の荷物を探しても、いずこの者かどこへ行くかもわからなかった。

渡貫家では屋敷内で亡くなったのも何かの縁と自家の墓地に手厚く葬った。赤ん坊も身元が分かるまでと養育して



地域の人が手作りの衣を纏う恵母地蔵様

いたが、ついに身寄りも現れず、娘として嫁がせたという。息絶えた後までも子に乳を与えようとする母の姿のいじらしさを村人達は哀れに思い、石仏を建立し、恵母地蔵と名付けた。

石仏の台座には明和五子年（1768年）と刻まれている。

（参考資料・「大山街道繁盛記」）

祭りの夏

夏祭り2015 あい・もーる長後

8月1日(土)、あい・もーる長後商店街の夏祭りが開催された。湘南みどりが丘幼稚園の鼓笛パレードに始まり、キッズダンス、藤沢総合高校吹奏楽、大道芸、西口プロレスのパフォーマンスが繰り広げられた。商店街の両側には様々な模擬店が並び、暑さの中、多くの子供たちの笑顔であふれていた。



歩行者天国になった商店街には多くの人出が

プレミアム商品券に行列

全国各地で話題になったプレミアム商品券が藤沢市でも8月5日(水)に発行された。藤沢市のプレミアム分は20%、5000円で6000円の買い物ができる。小売店だけで使える券5枚と大型店でも使える券7枚が一冊になっている。

長後地区でも、あい・もーるの商店街会館前に炎天下にもかかわらず発行開始前から数百人の行列が出来るなど、人気を博した。長後商店街協同組合の山村忠夫理事長は「これを機会に地元商店街をなお一層ご利用いただければ」と語った。



発行初日、商店街に長い行列が

告知板

サークル紹介 グリーンローズモミラニ

日時 9月12日(土)、18日(金) 11時~13時
講師 石井ゆき子先生
内容 フラダンスのレッスン
会費 2400円(月2回)

あすなろ会

申込 小森谷明子(45) 75
日時 火曜日15時~17時
講師 酒田 隆先生
内容 卓球
会費 3000円(4ヵ月)
申込 小林政好(77) 5833
※場所はいつでも長後公民館

編集後記

☆昨年参加した長後地区防災講演会での講師の言葉が、今も耳に残っている。

☆「高齢の方ほど自宅の耐震化は必要ないと考えがち。だが、もし家が倒壊すれば隣人の避難路を塞ぎ緊急車両を止め、何よりあなたを救助に来た人の命を危険にさらす。私達は運命共同体なのです」。

☆自分の命を守るために準備をすることは、周りの多くの命を守ることに繋がるのだと気づかされた。

☆災害の危険が迫り避難勧告が出されれば、担当の市職員は避難所開設のために夜間休日を開かず持ち場にかけつける。

☆消防や警察などにも同様なマニュアルがある。その人たちはそれが仕事と云ってしまえばそれまでだが、救援活動に当たる人々にも、守りたい家族や大切な人の命がある。

☆災害時は、すべての人が被害者だ。その時に自分を助けるのはまず自分と、心構えを持ちたい。(H・Y)